会 報 第５７号
令和５年11月11日
水 を 語 る 会
会長　眞柄　泰基

水を語る会

現在の会員数　一般会員99名　団体会員５団体　（令和５年３月現在）

令和５年度定例総会・特別講演会の報告

日時：令和５年７月15日(土)13時30分～15時30分
場所：日本水道会館会議室及びWEB（Zoom）

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

講演１：財団の事業と水道行政の移管に関する展望
講師：(公財)給水工事技術振興財団　専務理事
　石飛　博之　様

石飛様には給水装置工事主任技術者試験の実施による技術者の養成、給水工事技術の開発・研究を中心に財団の事業紹介と水道行政移管の展望をお話いただきました。平成８年の水道法改正を受けて開始した主任技術者試験の意義や目的、30年の法改正から主任技術者更新制度や研修会、検定会の導入による技術者の技能・知識の研鑽、労働人口減少に対応した給水装置工事のデジタル化に向けた取組みをご紹介いただきました。

また来年度の水道行政移管に向けて、厚労・国交両省の異なる行政の流儀・文化の相互理解、広域連携の旗振り役としての地方整備局への期待とともに、産・官・学一体となった水道行政の模索の重要性についてお話いただきました。

写真-1　講演中の石飛様

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

講演２：「水道法移管と登録検査機関の在り方」
講師：(一社)全国給水衛生検査協会 会長 奥村 明雄様

奥村様には水道水質検査における20条検査（飲料水）と34条検査（貯水槽）を行う検査機関を取りまとめる給衛協の主な取組みや、水道法改正以降の財政･職員数等問題を抱える中小事業体を支援する検査機関の役割､また災害時における貯水槽水道の重要性をご説明いただきました。

水道行政移管については、国交省・環境省に二元化される行政の一元的運営の希望や､国交省主導による貯水槽水道を活用した災害対策の推進への期待についてお話いただきました。

写真-2　講演中の奥村様

定例幹事会の報告

日時：令和５年７月15日(土)　12時～12時50分
場所：日本水道会館及びWEB会議
議題：①会員集会開催方針、次回講演会について
　　②その他

編集後記

今回初参加いたしました。講演会や意見交換会で闊達に交流される会員の皆さまとともに、水・水道への知見を広げ、理解を深めていければと思います。

引き続き、ご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。(幹事　三角伸丞)

◆新規入会をご希望の方は、事務局までご一報下さい。
詳しくはホームページをご覧ください。
→ http://mizuwokatarukai.org /